



第23期
報告書

【平成22年12月1日 ▶ 平成23年11月30日】

原点 回 帰

平成23年11月期は、関門海にとって大きな岐路となった一年でした。これまでの事業分野拡大を基本方針とした中期経営計画を廃止し、「玄品ふぐ」事業への原点回帰を軸とした新たな事業計画を策定しました。

これまでの関門海は、「玄品ふぐ」店舗の多くは優良店であり収益性も高かった反面、不採算店舗も多数あり、また、「玄品ふぐ」以外の多角化した店舗は収益性が低い状況がありました。M&Aにより新規参入した総菜宅配事業や養殖事業も、当初想定した結果が得られず、更に多角化による本部コストも膨大化しておりました。

この状況を猛省し、現状の課題を一掃するために当社が「玄品ふぐ」事業への原点回帰するのは、当然の結論でありました。当期において、不採算事業の閉鎖・売却を進めるとともに、「玄品ふぐ」も含めた不採算店舗の閉鎖、本部コストの大幅削減を行った結果、連結営業利益は黒字に回復することができました。

私は、平成23年12月に専務取締役グループ営業本部長から社長となりました。まず、田中新体制のもと、「玄品ふぐ」の店舗を第一に考え、現場を軸とした経営に移行いたしました。

関門海の持つ最大の武器は、とらふぐを「安く・おいしく」提供できる「商品・技術力」であり、この当社自慢のとらふぐを提供する当社社員の「人材力」であります。当社の業績回復のためにも、この2点を徹底的に追及することにより、収益性向上を目指します。

今後、「玄品ふぐ」以外の事業については、事業売却・閉鎖、オペレーションの外注化等を推進し、出来る限りスリム化することにより、経営資源をとらふぐ事業に集中していきます。また、これまでの本部主導であった店舗運営に関しても現場主導へと見直します。店舗で働いている店長、社員、スタッフの声を改革の原点として、真にお客様に喜んでいただける、よりよい店づくりを徹底し、店舗収益性の拡大を図ってまいります。また、今後の事業の再拡大のためにも、「玄品ふぐ」の独立支援体制の見直し、とらふぐの外販事業にも積極的に参入いたします。

当社の持つ「商品・技術力」「人材力」は、今後も「玄品ふぐ」を支えてくれるものと確信しております。新たに、経営者理念として、「真に食を愛する者が関門海を形成し、社会に貢献する」を掲げ、当面は「結束の関門海」をキーワードに、皆が一丸となって、情熱をもって事業に邁進していきます。

今後とも、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 田中 正



とらふぐ料理専門店「玄品ふぐ」は、とらふぐ相場が乱高下する中「多くの方々に安全で本当に美味しいものをお届けしたい」という思いで独自の技術開発により、安全かつ低コストでの提供を可能にできました。その食材開発力を活かしたとらふぐ料理店「玄品ふぐ」では、長きに渡って常にふぐ料理業界でトップを走り続けてきました。当然、とらふぐの取扱量も日本一の実績を誇っております。

「玄品ふぐ」は、家族連れでも気軽に楽しめる地域に根ざした店舗運営を進めています。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

資産の部	当期	前期
	(H23.11.30現在)	(H22.11.30現在)
流動資産	2,130,414	3,325,764
現金及び預金	371,079	752,525
売掛金	170,550	495,960
商品及び製品	1,338,320	1,635,337
仕掛品	-	178,800
原材料及び貯蔵品	18,369	59,830
繰延税金資産	-	46,360
その他	260,456	189,641
貸倒引当金	△28,361	△32,691
固定資産	2,445,941	3,213,948
有形固定資産	1,567,263	2,047,740
建物及び構築物	1,142,192	1,467,354
機械装置及び運搬具	7,278	33,996
土地	320,414	412,023
その他	97,377	134,366
無形固定資産	12,657	76,908
のれん	-	54,264
その他	12,657	22,643
投資その他の資産	866,020	1,089,300
投資有価証券	6,344	21,365
差入保証金	834,686	913,391
繰延税金資産	-	102,312
その他	55,791	76,416
貸倒引当金	△30,802	△24,184
資産合計	4,576,355	6,539,713

(単位:千円)

負債の部	当期	前期
	(H23.11.30現在)	(H22.11.30現在)
流動負債	4,009,058	4,159,494
買掛金	154,763	284,650
短期借入金	1,280,000	1,650,000
1年以内返済予定の長期借入金	2,142,911	1,656,676
未払金	334,621	423,732
未払法人税等	3,322	28,092
未払消費税等	15,742	21,265
ポイント引当金	-	6,440
その他	77,696	88,636
固定負債	1,349,252	2,338,124
長期借入金	1,217,781	2,152,342
その他	131,471	185,782
負債合計	5,358,311	6,497,618
純資産の部		
株主資本	△810,738	13,917
資本金	329,564	324,060
資産剰余金	438,561	433,056
利益剰余金	△1,290,885	△455,219
自己株式	△287,980	△287,980
その他の包括利益累計額	△1,990	△180
その他有価証券評価差額金	△1,990	△180
新株予約権	30,773	28,357
純資産合計	△781,955	42,094
負債・純資産合計	4,576,355	6,539,713

連結損益計算書(要約)

	当期	前期
	(H22.12.1~H23.11.30)	(H21.12.1~H22.11.30)
売上高	7,231,981	9,038,758
売上原価	2,803,051	3,629,539
売上総利益	4,428,929	5,409,219
販売費及び一般管理費	4,372,680	5,456,193
営業利益又は営業損失	56,249	△46,973
営業外収益	34,213	30,417
営業外費用	139,116	101,532
経常損失	△48,653	△118,088
特別利益	115,628	12,326
特別損失	680,916	664,847
税金等調整前当期純損失	△613,941	△770,609
法人税等	162,024	120,227
少数株主損益調整前当期純損失	△775,965	-
当期純損失	△775,965	△890,837

(単位:千円)

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	当期	前期
	(H22.12.1~H23.11.30)	(H21.12.1~H22.11.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,319	620,871
投資活動によるキャッシュ・フロー	443,384	△39,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△874,150	△892,495
現金及び現金同等物の増減額	△381,446	△310,805
現金及び現金同等物の期首残高	752,525	1,063,330
現金及び現金同等物の期末残高	371,079	752,525

(単位:千円)

連結株主資本等変動計算書(要約) H22.12.1~H23.11.30

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株式資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額		
前期末残高	324,060	433,056	△455,219	△287,980	13,917	△180	△180	28,357	42,094
当期変動額									
新株の発行	5,504	5,504			11,009				11,009
剰余金の配当			△59,700		△59,700				△59,700
当期純損失			△775,965		△775,965				△775,965
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,810	△1,810	2,415	605
当期変動額合計	5,504	5,504	△835,665		△824,655	△1,810	△1,810	2,415	△824,050
当期末残高	329,564	438,561	△1,290,885	△287,980	△810,738	△1,990	△1,990	30,773	△781,955

「玄品グループ」店舗一覧

◆玄品ふぐ

兵庫県

北野坂の関
尼崎の関
塚口の関
伊丹の関
六甲道の関

京都府

祇園の関

大阪府

法善寺の関
宗右衛門町の関
梅田東通りの関
曾根崎の関
北梅田の関
天満の関
江坂の関
吹田の関
庄内の関
池田の関
楠葉の関
茨木の関
新大阪の関

北海道

ススキノの関

神奈川県

川崎の関
元住吉の関
桜木町の関
石川町の関
本厚木の関
平塚の関
南林間の関
大船の関
あざみ野の関
横浜の関
青葉台の関

埼玉県

川口の関
浦和の関
大宮の関
上福岡の関

東京都

神田の関
御茶ノ水の関
銀座一丁目の関
六本木の関
新橋の関
田町の関
五反田の関
大井町の関
新宿三丁目の関
神楽坂の関
池袋の関
中野の関
浅草の関
両国の関
亀有の関
門前仲町の関
亀戸の関
西葛西の関
志村坂上の関
練馬の関
自由が丘の関
蒲田の関
大森の関
千歳烏山の関
高円寺の関
赤羽の関
竹ノ塚の関
吉祥寺の関
国分寺の関
上野の関
平井の関
新宿歌舞伎町の関
八王子の関



◆以蟹茂・ふぐかに玄品

ふぐかに玄品 東心斎橋店
ふぐかに玄品 新宿南店
以蟹茂 南越谷店
以蟹茂 吉祥寺店
以蟹茂 浜松町店

◆すし兵衛

大井店
ミスターマックス湘南藤沢店
茅ヶ崎店
平塚店
シティーモール店
鶴ヶ峰SATY店

◆新規

トロバカ 田町店
玄銀
バルデゲー
アリアッチ
黒門 富士水産
ちゃぶマイル
壇ノ浦
パーキングエリア

株式の状況

■株式の状況 平成23年11月30日現在

発行可能株式総数	200,000株
発行済株式の総数	63,020株
期末株主数	10,248名

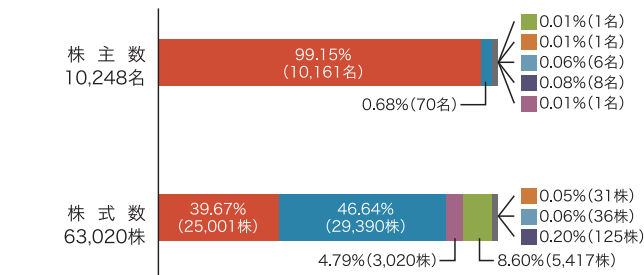
■大株主

株主名	保有株数	保有割合
株式会社ヤタガラスホールディングス	24,048	38.16%
関東財務局	5,417	8.60%
サッポロビール株式会社	5,102	8.10%
浅野 省三	422	0.67%
八藤 真	400	0.63%
田原 久美子	354	0.56%
山形 圭史	220	0.35%
関門海福株会	192	0.30%
原 真理	149	0.24%
谷間 真	132	0.21%
合計	36,436	57.82%
発行済み株式総数	63,020	100.00%

※小数第3位四捨五入

※当社は自己株式3,020株(所有割合4.79%)を保有しておりますが、大株主様の状況には含めておりません。

■所有者別株式分布状況



個人・その他 0.01% (1名)
その他の法人 0.01% (1名)
自己名義株式 0.06% (6名)
その他金融機関 0.08% (8名)
金融商品取引業者 0.01% (1名)
外国法人等 0.05% (31株)
政府・地方公共団体 0.06% (36株)
0.20% (125株)

株主優待制度

株主優待制度概要

- 1株以上3株未満 —— 優待券×1枚(3,900円相当)
- 3株以上5株未満 —— 優待券×2枚(7,800円相当)
- 5株以上 —— 優待券×3枚(11,700円相当)

対象となる株主様

11月30日現在の株主名簿に記載された株主様

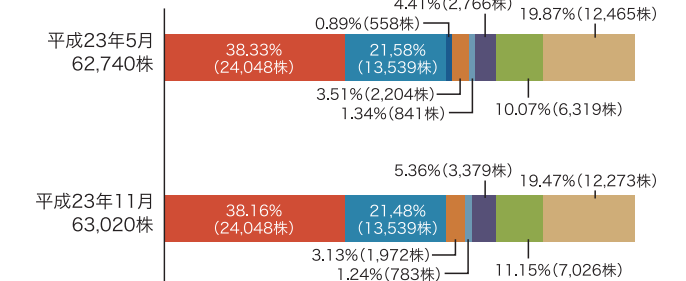
優待内容

1	とらふぐ料理専門店「玄品ふぐ」	秘玄匠味セット1人前ご優待
2	当社直営店舗 ※	3,900円相当の割引
3	お取り寄せ玄品ふぐ	3,900円相当の割引
4	玄品ふぐひれ酒セット	オリジナルひれ酒セットと引き換え

※回転寿司「すし兵衛」、壇之浦パーキングエリアではご利用になれません。



■所有株式数別分布状況



1株以上 5株以上 10株以上 50株以上
100株以上 500株以上 1,000株以上 10,000株以上

株主メモ

決算期 毎年3月31日
基準日 毎年3月31日
中間配当基準日 毎年9月30日
株式の売買単位 1株
公告掲載方法 電子公告による(<http://www.kanmonkai.co.jp>)
但し電子公告を行えない場合は、日本経済新聞に掲載する。

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
TEL:0120-094-777

会社概要

株式会社 関門海 KANMONKAI Co.,Ltd.

創業 昭和55年9月
創業者山口聖二が大阪府藤井寺市にてとらふぐ料理「ふぐ半」を開店

設立 平成元年5月 株式会社さかな亭(現:株式会社関門海)を設立

所在地 ●本社所在地
〒550-0014 大阪市西区北堀江2丁目3番3号
TEL:06-6578-0029(代表) FAX:06-6578-0030
お問い合わせ info@kanmonkai.co.jp
URL <http://www.kanmonkai.co.jp>

●東京本部
〒108-0071
東京都港区白金台5丁目4番7号 BARBIZON25 4F

資本金 3億2,956万円(平成23年11月30日現在)

役員 代表取締役社長 田中 正
取締役 大村美智也
取締役 本多 正嗣
取締役特別顧問 谷間 真
常勤監査役 松本 滋
社外監査役 浅野 省三
社外監査役 玉置 和則
(平成23年12月1日現在)

従業員数 190名(平成23年11月30日現在)

事業内容 ●とらふぐ料理専門店「玄品ふぐ」の直営及びフランチャイズによる店舗展開
●食材関連技術を活用した新規開発事業による店舗運営

